

基本目標 I 男女共同参画社会を実現するための意識づくり

施策の方針 1 男女共同参画意識の高揚

取り組みの方向 (1) 広報・啓発の拡充

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)

5(十分に達成できた): 目標値の100%以上
 4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步): 目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分): 目標値の60%未満

001	事業名	男女共同参画セミナー等の開催	課所	男女共同参画支援センター
			事業費	110,000円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市民の男女共同参画に関する理解を深め、男女共同参画の推進を図る。		男女共同参画に関する講座や講演会等を年1回程度開催する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 家族という制度のなかにあるジェンダー構造に気づくとともに、「近代家族」の成立の経緯について知り、ジェンダーを乗り越えた新しい家族のかたちを模索する2回講座「シリーズ 家族ってなあに? ~『家族』から『かぞく』へ~」を実施した。①10/6 Part1「家族」という呪縛—社会が強い規範、②10/28 Part2新しい「かぞく」のカたちを求めて				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
参加率		満足度		
<目標> 80 % <実績> 89 %		<目標> 80 % <実績> 88 %		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
参加人数:77人(女性64人、男性11人、その他2人) 募集人数:80人(40人×2回)		「日本の家族という形が変わっていかねばならないな」と感じるとともに、変わっていく家族のあり方を支援できる体制が整っていないのも、問題であると感じた」「家族の歴史的経緯が少しわかった。多様化する家族のあり方を理解した」などの感想があった。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		Part1では閉じられた家族のなかで児童虐待やひきこもりが起こった事例から家族問題を考えた。Part2では多様な家族の紹介を導入として、「近代家族」についてわかりやすく解説した。関連イベントとして実施した映画上映会『沈没家族』も含め、シリーズを通して、より生きやすい社会の実現に向けて考える機会を提供できた。		
<H29実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

002	事業名	男女共同参画情報誌の発行	課所	男女共同参画支援センター
			事業費	480,512円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市民に、男女共同参画に関する情報をわかりやすく発信することで、意識啓発、理解促進を図る。		年2回定期的に男女共同参画情報誌を発行する。毎回テーマを定めた特集を掲載する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 情報誌「みてみてほっと越谷」を発行・配布した。第43号(7/1発行)のテーマは「越谷市で暮らす外国人女性たち」で、越谷市で暮らす外国人女性たちの現状や困りごと等を取り上げ、越谷市の取り組みや必要な支援について伝えた。第44号(2/1発行)のテーマは「身近な性暴力」で、性暴力は身近にあり、誰もが被害者にも加害者にもなり無縁ではないことを伝えた。				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
発行部数		達成度		
<目標> 26,000 部 <実績> 26,000 部		<目標> <実績>		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
第43号:13,000部、第44号:13,000部		市の施設などで配布するほか、自治会の回覧やホームページへの掲載など、より多くの市民に届けられるような工夫を行った。情報誌を読んでいる人気づくことができたという感想があった。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		情報誌では、毎号の特集記事に身近なテーマを取り上げている。今年度は「多文化共生社会」「#metoo運動」といった社会の動向から、新しい視点、気づきの機会をつくることができた。		
<H29実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

基本目標 I 男女共同参画社会を実現するための意識づくり

施策の方針 1 男女共同参画意識の高揚

取り組みの方向 (1) 広報・啓発の拡充

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)

5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

003	事業名	男女共同参画情報を選択・判断する力を育成する事業の実施	課所 事業費	男女共同参画支援センター 30,000円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
インターネット、スマートフォンなど多様化するメディアから発信されるジェンダー(社会的・文化的に作られた性差)に関する情報をうのみにせず、主体的に読み解き、活用する能力を高める。		メディアから発信される情報を選び取る力、見極める力を養うための講座の開催やパネル展示等を行う。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】メディアに潜むジェンダー構造に気づき、情報を正しく選択・判断する力を養うとともに、#MeTooやセクハラなどの事例から、性暴力・ハラスメントの報道にもなる問題を理解する講座を実施した。9/8「女性記者がリアルに語る! #MeToo セクハラ 最新メディア動向」				
【活動実績(活動指標)】 実施事業数		【取り組みの成果(成果指標)】		
<目標> 1 回 <実績> 1 回		<目標> <実績>		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
参加人数:44人(女性30人、男性14人) 募集人数:30人		「新しい視点、気づきが得られた」「記者の方々がセクハラを重く考えていることがわかってよかった」「講師の#MeTooに対する思いと問題提起が届いた」などの感想があった。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		#MeToo、セクハラなどに対するメディアの報道の実態を伝え、メディアに潜む男性中心的なジェンダー構造などの問題点を指摘した。報道現場の現状を知らせることで、広く行き渡る情報をうのみにせず、意識的に読み解く必要性を伝えることができた。		
<H29実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

004	事業名	男女共同参画推進のためのパネル展示等の実施	課所 事業費	男女共同参画支援センター 84,000円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市民の男女共同参画に関する理解を広め、男女共同参画の推進を図る。		国の男女共同参画週間等に合わせ、パネル展示等を行う。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】①4/3~4/27世界と日本の男女平等②5/9~5/17男性を取り巻く環境③6/22~7/6男女共同参画週間(市庁舎ロビー)④8/1~9/12SHE検定⑤9/13~10/17多様な性を知っていますか⑥1/16~1/29スウェーデンのパパたち⑦3/2~3/8国際女性デー(市民活動支援センター)⑧3/10~4/28越谷市のジェンダー統計				
【活動実績(活動指標)】 実施事業数		【取り組みの成果(成果指標)】		
<目標> 7 回 <実績> 8 回		<目標> <実績>		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
		さまざまなテーマのパネル展示を企画し、「ほっと越谷」や市庁舎ロビー、市民活動支援センターに展示することにより、多くの市民に男女共同参画に関する理解を深める情報提供ができた。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		「ほっと越谷」が実施する事業やブックフェアと開催時期とあわせてパネル展示を行う工夫により、男女共同参画に関する幅広い情報提供を行うことができ、学びを深めることができた。		
<H29実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

基本目標 I 男女共同参画社会を実現するための意識づくり

施策の方針 1 男女共同参画意識の高揚

取り組みの方向 (1) 広報・啓発の拡充

【数値目標が設定されている場合の達成度】
(※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)

5(十分に達成できた):目標値の100%以上
4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
3(達成まで今一歩):目標値の60%以上80%未満
2(達成は不十分):目標値の60%未満

005	事業名	男女共同参画推進のための出前講座等の実施	課所	男女共同参画支援センター
			事業費	—
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市民の男女共同参画に関する理解を広め、男女共同参画の推進を図る。		地区センター等において、男女共同参画に関する講座、パネル展示等を実施する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 ①7/10「自分の生き方ひろげよう」②7/29「防災イベントためしてみよう！避難所体験」③8/1「高齢期を生き生きと過ごすためにシネマ『おひとりさまを生きる』」④9/14「シネマ『ツヒノスミカ』から高齢期を考える」⑤11/13「シネマサロン『おひとりさまを生きる』」⑥11/22「デートDV防止啓発講座」⑦12/3「デートDVを知ろう」⑧12/21「わたしの終の住みか～自分が自分らしく生きる～」				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
実施事業数				
<目標> 5 回 <実績> 8 回		<目標> <実績>		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
参加人数:1,181人(女性539人、男性642人)		②7/29「防災イベントためしてみよう！避難所体験」では、「ロールプレイを通じて、避難所設置のイメージができてよかった。実際の災害時には多くの被災者がいるので、市職員・運営者・住民の協力が重要であると理解した」などの感想があった。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		実施回数が昨年の7回から8回に増加した。地域のさまざまな関係機関・NPO・団体・学校に出向き、男女共同参画の意識啓発を行うことができた。		
<H29実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

006	事業名	男女共同参画推進週間における事業の実施	課所	男女共同参画支援センター
			事業費	418,570円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市の男女共同参画推進週間に合わせて、市民団体と協働で男女共同参画の推進を図る。		男女共同参画支援センターの周年事業(七夕フェスタ)を、登録団体その他の市民団体と協働で実施する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 登録団体が構成する実行委員会と共催で、七夕フェスタを開催した。6/30は「さくら広場」と「ほっと越谷」の2会場においてオープニングイベントを開催した。(参加人数:約3300人)7/1～7/8までは、「ほっと越谷」で七夕フェスタを開催し、期間中に登録団体企画による展示や講座を実施した。(参加人数:約600人)				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
延べ参加団体数				
<目標> 115 団体 <実績> 123 団体		<目標> <実績>		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
オープニングイベント:50団体、七夕フェスタ:講座21団体、展示26団体、交流会26団体		「オープニングイベント」は、「さくら広場」と「ほっと越谷」の2会場をつないで実施した。多くの市民団体との協働により、スタンプラリーやステージ発表、模擬店などでイベントを盛り上げ、「ほっと越谷」を広く周知することができた。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		実行委員会方式で、全登録団体が事業運営に携わることにより、登録団体の「ほっと越谷」の実施事業に対する理解が深まった。交流会においても、次年度に向けた活発な意見交換を行い、協働による連帯感を高めることができた。		
<H29実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

基本目標 I 男女共同参画社会を実現するための意識づくり

施策の方針 1 男女共同参画意識の高揚

取り組みの方向 (1) 広報・啓発の拡充

【数値目標が設定されている場合の達成度】
(※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)

5(十分に達成できた): 目標値の100%以上
4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
3(達成まで今一步): 目標値の60%以上80%未満
2(達成は不十分): 目標値の60%未満

007	事業名	市民との協働による事業の実施	課所	男女共同参画支援センター
			事業費	60,000円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市民との協働による事業を企画実施することにより、男女共同参画に関する理解を深める。		公募した市民で構成する企画委員等との協働により、事業を実施する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 公募による市民企画委員(6人)との協働で、「本がつながる 楽しい出会い」をテーマに図書を紹介と意見交換を行う「ブックサロン」を①9/2、②1/20の2回開催した。7/18~8/31には「ブックサロン」と同テーマで「ほっと越谷」の所蔵図書を展示する「ブックフェア」を開催した。				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
開催事業数		達成度		
<目標> 2 回 <実績> 3 回		<目標> <実績>		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
参加人数:37人(女性29人、男性8人) 募集人数:30人(15人×2回)		ブックサロン参加者からは「自分からは本を選ぶ時間がない中で、みなさんからのおすすめの本の内容を知り、楽しく充実した2時間だった」「多くの参加者の意見に触れて、充実した時間が持てた」などの感想があった。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		ブックサロンでは、企画委員が「ほっと越谷」が所蔵する男女共同参画に関する図書を紹介した。企画委員として市民が事業の企画・運営・選書に携わることで、男女共同参画についての理解を深めるとともに、参加者に伝えることで理解の輪が広がった。		
<H29実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

008	事業名	支援センター登録団体等との協働による事業の実施	課所	男女共同参画支援センター
			事業費	143,000円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市民との協働による男女共同参画の推進を図る。		男女共同参画支援センターの登録団体および他の市民団体との協働により、男女共同参画に関する講座の企画、運営を行う。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 市内で活動する団体から男女共同参画関連の事業企画を公募し、登録団体・市民団体の4団体が講座を実施した。①10/27「これは知りたい! 介護と医療と認知症」②11/17「ヒューマンライブラリー～あなたが出会ったことのない人に会える～」③12/2「楽しくカラーコミュニケーション 色育講座」④1/24「『いや!』は自分を守る第一歩～CAP東埼玉の子育て講座～からだ編～」				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
協働で開催する講座数		満足度		
<目標> 6 回 <実績> 4 回		<目標> 80 % <実績> 94 %		
達成度 3 (達成まで今一步)		達成度 5 (十分に達成できた)		
書類選考とプレゼンテーションを経て決定した開催4団体(登録団体3団体、市民団体1団体)が講座を実施した。		すべての事業で満足度が90%を超えた。開催団体による振り返りにおいても、「募集人数を大きく超えた参加があった」「昨年度よりも充実した内容になり、継続開催を願う声も寄せられている」「子どもに対する視点や性暴力など社会の認識を考える機会になった」などの感想があった。		
事業の評価				
C (より積極的な取り組みが必要)		担当者企画会議や講座の実施を通じて、開催団体の男女共同参画に対する理解を深めることができた。		
<H29実績> C				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
新たな団体との協働に向けて、本事業のさらなる周知が必要である。		市内外の活動団体に対し、個別の案内を行う等の広報を行う。募集要項等で、「ほっと越谷」と協働するメリットや支援などについて、わかりやすく伝える工夫を行う。		

基本目標 I 男女共同参画社会を実現するための意識づくり

施策の方針 1 男女共同参画意識の高揚

取り組みの方向 (1) 広報・啓発の拡充

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)

5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一歩):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

009	事業名	所蔵図書の貸出し	課所 事業費	男女共同参画支援センター 0円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市民の男女共同参画に関する理解を深め、男女共同参画の推進を図る。		所蔵図書の貸出しを実施する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 男女共同参画に関する図書・行政資料などを収集し、閲覧・貸出を行った。前年度まで週2日だった図書の貸出し日を開所日にいつでも貸出しするように変更し、利便性の向上を図った。情報誌(年2回発行)やイベント情報誌(年4回発行)に実施事業や特集記事のテーマに即した所蔵図書の書評を掲載する等、所蔵図書の紹介と利用促進を行った。				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
利用者数		利用者数		
<目標> 300 人 <実績> 542 人		<目標> <実績>		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
利用者:542人(女性503人、男性39人) 貸出冊数:777冊		開催事業に関連したパネル展示とブックフェア(または講座開催日の関連図書展示)による情報提供を行うことで、男女共同参画の学びや理解が深まるような取り組みを行っている。ブックフェアの図書リストは「ほっと越谷」のホームページから閲覧・ダウンロードが可能である。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		さまざまな機会に乗じた所蔵図書の紹介と利用促進の取り組みにより、利用者数は前年比130%(H29年度:416人)、貸出冊数は前年比133%(H29年度:585冊)と着実に増加している。図書・資料の提供を通じて、男女共同参画に関する理解を深めることができた。		
<H29実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

010	事業名	ジェンダーの視点を踏まえた刊行物作成のための情報提供	課所 事業費	人権・男女共同参画推進課 0円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市の各課所に、性別による固定的イメージが含まれる刊行物を作成することがないよう意識啓発を図る。		ジェンダーの視点を踏まえた刊行物作成のガイドラインを作成するとともに、ガイドラインに沿って刊行物が作成されているかを定期的にチェックする。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 リーフレットやチラシ、広報こしがや等、市で発行した刊行物を毎月5種類チェックし、チェック項目に該当する刊行物があった場合は、担当課所に今後の配慮をお願いしている。また、チェック結果を3ヶ月に1回庁内LANで報告することで、全庁的に作成時の注意喚起を図った。				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
チェックした刊行物の数		注意を喚起した刊行物の数		
<目標> 60 種類 <実績> 60 種類		<目標> 0 種類 <実績> 0 種類		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		リーフレットやチラシの作成の際に幾つかの課からアドバイスを求められるなど、ジェンダーの視点を踏まえた刊行物作成に対する意識が高まっているものと思われる。		
<H29実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

基本目標 I 男女共同参画社会を実現するための意識づくり

施策の方針 1 男女共同参画意識の高揚

取り組みの方向 (1) 広報・啓発の拡充

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)

5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

011	事業名	市民への男女共同参画苦情処理委員の周知	課所 事業費	人権・男女共同参画推進課 —
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
男女共同参画の推進に関する市の施策や、男女共同参画の推進を妨げる事案に対して、市民が必要なときにいつでも苦情の申し出ができるように、苦情処理委員の周知を図る。		広報紙やホームページに男女共同参画苦情処理委員の情報を掲載するほか、随時チラシ等も用いて苦情処理委員の周知を行う。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 年間を通じてPRリーフレットを市の施設に設置するほか、ホームページでも制度を紹介している。また、広報こしがや、ほっと越谷の情報誌「みてみてほっと越谷」に制度を紹介する記事を掲載するほか、成人式において新成人に制度を紹介するチラシを配布した。				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
広報紙やホームページ等でPRする回数				
<目標> 3 回 <実績> 3 回		<目標> <実績>		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 4 (概ね達成できた)		
①広報こしがや(1月号)、「みてみてほっと越谷」44号(2月)、③成人式でのPRチラシの配布		さまざまな媒体や機会を利用し、男女共同参画苦情処理制度について広く周知を図ることができた。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<H29実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
平成29年度に引き続き、平成30年度は苦情の申し出がなかったが、男女共同参画に関する人権侵害等の事案は未だ存在しているものと思われるため、今後も積極的に制度の周知を行って行く必要がある。		今後とも積極的に周知を行う。		

012	事業名	職員に対する男女共同参画の啓発	課所 事業費	人事課 0円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
男女がともに能力を発揮できる職場環境を形成するため、男女共同参画に関する研修を実施することにより市職員の理解を深め、意識啓発を図る。		男女共同参画に関する研修を実施する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 新採用職員及び新任主幹級職員を対象に、男女共同参画に係る研修を実施した。(新採用職員研修は4/3、6/1、10/1実施、監督職員(主幹級)研修は5/10に実施)				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
男女共同参画に関する研修の受講者数		理解度		
<目標> 1 人 <実績> 187 人		<目標> 100 % <実績> 86.3 %		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 4 (概ね達成できた)		
①新採用職員研修(4/1付採用):男性49人、女性75人(6/1付採用):男性1人、女性2人(10/1付採用):男性5人、女性1人 ②監督職員(主幹級)研修:男性35人、女性19人		人権・男女共同参画推進課職員を講師に「男女共同参画の意義や取り巻く環境」について講義を実施。研修後の受講者アンケートでは「理解できた」「概ね理解できた」や今後の業務の参考になる」との回答が多数を占めた。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<H29実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後も適切に事業を実施する。		

基本目標 I 男女共同参画社会を実現するための意識づくり
 施策の方針 1 男女共同参画意識の高揚
 取り組みの方向 (3)国際的な動向を考慮した意識づくり

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一歩):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

014	事業名	国際的な動向についての情報提供	課所 事業費	人権・男女共同参画推進課 0円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
男女共同参画の取り組みは国際的な動向と密接に連動しているため、国際的な動向についての情報を市民に提供し、男女共同参画に関する意識啓発、理解促進を図る。		男女共同参画に関する国際的な動向について、情報提供を行う。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 男女間の格差を示す国際的指数である「ジェンダー・ギャップ指数」と、「越谷市ジェンダー統計(男女別等統計)」の2つをテーマにして世界と日本及び越谷市の現状について、男女共同参画支援センター「ほっと越谷」と連携して、市民活動支援センターでパネル展示を開催した。(市民活動支援センター:3/2~3/8)				
【活動実績(活動指標)】 情報提供の実施回数		【取り組みの成果(成果指標)】		
<目標> 1 回 <実績> 1 回 達成度 5 (十分に達成できた)		<目標> <実績> 達成度 4 (概ね達成できた)		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		今後も国際女性デー(3月8日)の前後を中心に、国際的な男女共同参画の動向に関する情報提供を実施する。		
<H29実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

- 基本目標 1 男女共同参画社会を実現するための意識づくり
 施策の方針 2 男女共同参画の視点を踏まえた教育の推進
 取り組みの方向 (1) 学校等における男女共同参画の視点を踏まえた教育の推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

015	事業名	保護者に向けた啓発資料の配付	課所 事業費	人権・男女共同参画推進課 0円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
家庭で男女共同参画の視点に基づいた教育が行われるよう、保護者に男女共同参画に関する意識啓発、理解促進を図る。		保育所(4歳クラス)、小学校3年生、中学校1年生の子を持つ保護者全員に男女共同参画意識の啓発資料を配付する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 市内の幼稚園及び公立・私立の保育所の4歳児クラス、小学校3年生、中学校1年生の保護者全員に、家庭での男女共同参画に関するリーフレットを作成し、配付した。(配付部数:9,560部)				
【活動実績(活動指標)】 啓発資料の配付数		【取り組みの成果(成果指標)】		
<目標> 一 部 <実績> 9,560 部		<目標> <実績>		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 4 (概ね達成できた)		
4歳児クラス 3,380部、小学校3年生 3,300部、中学校1年生 2,880部		子どもの数は毎年変動するため、配付数の目標値は設定していないが、対象となるすべての保護者に配付することができた。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<H29実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

016	事業名	教職員に向けた啓発資料の配付	課所 事業費	人権・男女共同参画推進課 0円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
男女共同参画の視点を踏まえた学校教育が行われるよう、教職員の男女共同参画に関する理解をさらに深める。		市立の小中学校教職員全員に、男女共同参画意識の啓発資料を配付する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 男女共同参画意識の啓発資料を作成し、市内の小中学校教職員全員に配付した。(配付部数:1,488部)				
【活動実績(活動指標)】 啓発資料の配付数		【取り組みの成果(成果指標)】		
<目標> 一 部 <実績> 1,488 部		<目標> <実績>		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 4 (概ね達成できた)		
平成29年度に引き続き、より現場の教職員に沿ったものとなるよう、教育における男女共同参画や性別の不一致に悩む児童生徒への対応について、市政世論調査等のデータを用いることで、分かりやすい紙面づくりを心がけた。		教職員全員に配付したことにより、教職員への男女共同参画に関する意識啓発をより一層推進することができた。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<H29実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

基本目標 I 男女共同参画社会を実現するための意識づくり
 施策の方針 2 男女共同参画の視点を踏まえた教育の推進
 取り組みの方向 (1) 学校等における男女共同参画の視点を踏まえた教育の推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた): 目標値の100%以上
 4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步): 目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分): 目標値の60%未満

017	事業名	教職員への男女共同参画に関する研修会の実施	課所 ・ 事業費	指導課 25,000円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
男女共同参画の視点を踏まえた学校教育が行われるよう、教職員に男女共同参画に関する意識啓発、理解促進を図る。		教職員に向けて男女共同参画に関する研修会を行う。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 2月22日「性の多様性と教育の課題」(参加者45人) 講師 埼玉大学教育機構基盤教育センター 准教授 渡辺 大輔 氏を招聘し、性の多様性と学校教育について開催した。性の在り方が多様なことや寄り添った対応をするためにはどのようなことができるのかについて理解を深めることができた。				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
研修会参加人数		参加者の理解度		
<目標> 45 人 <実績> 45 人		<目標> 100 % <実績> 100 %		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
内訳: 女性30人、男性15人		性の多様性に視点を当てた研修を通して、教職員に男女共同参画に関する意識啓発を図ることができた。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<H29実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
研修会のレベルを保ちつつ参加者の満足度をより高めるため、内容と分かりやすさのバランスを追求していく。		引き続き、「性同一性障害をはじめとした性的マイノリティ」に視点を当てた研修を通して、教職員に男女共同参画に関する意識啓発、理解促進を図る。また、今後は、演習やグループ協議を取り入れた研修会を実施する。		

018	事業名	家庭における固定的な役割分担意識の解消に関する講座の開催	課所 ・ 事業費	男女共同参画支援センター 29,500円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
家庭において保護者に子どもが小さいうちから男女共同参画の視点に基づいた関わりを持つことの必要性を認識してもらう。		保護者に向けて、固定的性別役割分担意識にとらわれない子育てなど、男女共同参画の視点を踏まえた家庭教育に関する講座を開催する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 児童館コスモスと共催で、2歳未満の子の保護者を対象に、肯定的なしつけ等を提示して、固定的性別役割分担意識にとらわれない子育てについて学ぶ講座を実施した。11/2「がんばりすぎない子育て～子どもを知ることで楽になる～」				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
参加率		満足度		
<目標> 80 % <実績> 100 %		<目標> 80 % <実績> 95 %		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
参加人数: 24人(女性24人、男性0人) 募集人数: 20人		「これからのような子育てをしたいか、きちんと考えるきっかけになった」「とても参考になるお話で、これからの子どもとの関わりに生かしていこうと思った」などの感想があった。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<H29実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		

基本目標 1 男女共同参画社会を実現するための意識づくり
 施策の方針 2 男女共同参画の視点を踏まえた教育の推進
 取り組みの方向 (1) 学校等における男女共同参画の視点を踏まえた教育の推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた):目標値の100%以上
 4(概ね達成できた):目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一歩):目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分):目標値の60%未満

019	事業名	キャリア教育の推進	課所 事業費	指導課 0円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
児童生徒に、性別による固定的役割分担にとられないキャリア形成ができるよう、男女共同参画に関する意識啓発を図る。		キャリア教育を実践するため、中学校では職場体験、小学校では地域の方との交流などを行う。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 小中学校の総合的な学習の時間・特別活動の授業等における「進路教育・キャリア教育」の推進。中学校では職場体験活動「社会体験チャレンジ」等を実施。				
【活動実績(活動指標)】 実践校数		【取り組みの成果(成果指標)】		
<目標> 45 校 <実績> 45 校 達成度 5 (十分に達成できた)		<目標> <実績> 達成度 5 (十分に達成できた)		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<H29実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
小中一貫教育を意識した、児童生徒の発達段階に即したキャリア教育を推進する必要がある。		小中一貫教育を通じて、良い実践例を広め、地域ごとの特性を活かした進路・キャリア教育を年間指導計画に位置づけ、確認・見直しを推進する。		

020	事業名	若年層に向けた男女共同参画推進条例リーフレットの配付	課所 事業費	人権・男女共同参画推進課 33,075円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
できるだけ早いうちから男女共同参画の考え方を意識してもらえよう、若年層に男女共同参画に関する意識啓発、理解促進を図る。		小学6年生全員に市の男女共同参画推進の基本的な考え方である「越谷市男女共同参画推進条例」のリーフレットを配付する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 市内の小学校6年生全員に「越谷市男女共同参画推進条例」の子ども向けリーフレットを配付した。(配付部数:3,475部)				
【活動実績(活動指標)】 条例リーフレットの配付部数		【取り組みの成果(成果指標)】		
<目標> 一 部 <実績> 3,475 部 達成度 5 (十分に達成できた)		<目標> <実績> 達成度 4 (概ね達成できた)		
公民学習の時期(1月ごろ)に合わせて、小学校6年生及びその学級担任全員に配付した。		公民の学習時期(1月ごろ)に合わせて配付したことにより、効果的に啓発を行うことができた。また、配布時には活用例を記載するとともに、市のホームページから随時ダウンロードを可能にして活用の幅を広げることができた。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<H29実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後とも適切に事業を実施する。		